

SmartLife

-スマートライフ-

加古川市立加古川中学校
エネルギー教育モデル校通信

No. 19

2016/05/30

未来のエネルギーをデザインする

本校のエネルギー環境学習のテーマは、『これからのエネルギーと私たちの暮らし ～持続可能な社会の実現に向けて～』であることは、前回の通信で紹介しました。このテーマに基づいて、1年目は「知る」、2年目は「実感する」をキーワードに取り組んできました。3年目となる今年度は、「デザインする」（構想・考案する）です。これまでの学習をいかして、未来のエネルギーのあり方を、自分でできることでデザインしてみましょう。

とは言っても、何をしてもよいかわかりませんね。生徒会は、生徒総会で、「加古川シエスタ」をデザインしました。短い午睡（昼寝）をとることで、心も体もすっきりし、午後からの学習がはかどるうえに、消灯することで、省エネにもつながるというものです。ちょっとしたアイデアで、エネルギーを無駄に使わない省エネができるのです。

まずは、私たちにできる省エネから始めてみましょう！

下のイラストの意味はわかりますか。いずれも省エネにつながりますね。こうした身近なところから、やってみましょう！



6月は環境について考えましょう！

さて、今週から、いよいよ6月です。
6月5日は環境の日です。これは、1972年6月5日からストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念して定められたものです。国連では、日本の提案を受けて6月5日を「世界環境デー」と定めており、日本では「環境基本法」(平成5年)に「環境の日」と定めています。

また、平成3年度から6月を「環境月間」と定めたことにより、6月は、全国で様々なイベントが行われます。

この機会に、自分の周りの生活で、無駄がないかを考え、節電・節水に心がけましょう。あわせて、エネルギー自給率の低い日本に住む市民として、エネルギーを大切にする生活を心がけましょう。



エネルギー自給率とは？

1年生は、自給率という言葉が難しいかもしれません。実は、日本のエネルギーは、その94%を、外国からの輸入に頼っているのです。つまり、日本の国にある資源だけでは、使っているエネルギーのわずか6%しか確保できないということです。

右の図でもわかるように、外国と比べても、日本の自給率が低いことがわかるでしょう。こうした日本の現状も知っておいてください。

